

森林塾青水

第17回 定期総会

1. 日時 2018年4月7日(土曜日)
13時00分 ~ 14時15分
2. 場所 環境パートナーシップ セミナースペース
3. 議題
第1号議案 2017年度事業報告及び事業収支
第2号議案 2018年度事業計画及び事業収支予算案
第3号議案 2018年度役員選任
第4号議案 会則の一部改定



2018年4月7日
森林塾青水

第1号議案 2017年度事業報告 および 会計収支

1. 2017年度事業報告

(1) 総括

基本的な活動が着実に行われた半面、地元の茅刈従事者が高齢化のため半減し、天候不順も加わり、刈茅数が大幅に低下した。特筆すべきこととして、地域通貨「飲水思源地域通貨ポッチ券」の発足があげられる。茅刈の数に応じて支給、地元産品の購買に使われ、直売所での交流もみられ予想以上の効果を上げた。

○ 前年度総会での「反省点」への対応

- ・ (2017年度の反省) 地元担い手の高齢化対策。現在の茅刈衆は早晚消滅の危機にあり活動の根幹にかかわる問題だが有効な対策が定まっていない。
 - 地元支援者の筆頭格である方々が何名か亡くなり、茅刈衆が半減するなど、事態はむしろ悪化。買い上げ価格の引き上げをし、地元、移住者などを勧誘したが実を結ばず。窮余の策としてボランティアの泊まり込みを試行した。
- ・ (2017年度の反省) 高齢者の新入会が多いこともあり相対的に高齢化。若者にとって魅力のある会になっていない。
 - 参加者は安定、若手の参加者もみられるようになり一応の成果あり。
- ・ (2017年度の反省) 役場や地元とのコミュニケーションが不足、野焼きをはじめ活動に対する十分な理解を得られていない。
 - 町役場の組織改編を機会に協力関係を再構築。エコパーク認定式の間では行政や地元に対して、活動をアピールできた。このほか、車座講座や地域通貨による、地元産品の購買を通じて交流範囲が広まった。
- ・ (2017年度の反省) エコパーク構想、ヘルスツーリズム、など地元のニーズにどう応えられるか、ロードマップが描けていない。
 - 現地事務所の動きもよくなっており、本年度のテーマの一つとしてとらえていきたい。

○ 「2017年度重点取り組み」の実現状況

- ・ 上ノ原の茅場再生活動とともに自然・森林・生き物を楽しむプログラムを実施します。
 - 定例プログラム参加者は前年を大幅に上回った。生き物調査もほぼ完了した。
- ・ 上ノ原のミズナラ林資源を使った自伐型林業などのNPO法人奥利根水源地域ネットワークの活動を支援してミズナラ林の若返りを図ります。
 - 予定通り実施できた。活動を通じて若手移住者との交流もあった。
- ・ 茅束や薪・炭販売の売上金を原資に地域通貨として参加者に還元する仕組みを試行します。
 - 「茅ポッチ」券を発行、地元直売所で行使、3万円の売り上げにむすびつき成功。
- ・ 草原再生活動等を行う他地域の団体との交流や他の地域の自然に触れる機会を継続します。
 - 日光に加え、玉原訪問など、活動の範囲が広がった。
- ・ 活動参加に付加価値をつける車座講座などを継続します。
 - 車座講座で地元の写真家や動物研究者、首都圏の有識参加者の話が聞けた。

○ 課題

- ① 地元主導体制へのロードマップ作り
 - 地元・都市住民ともに高齢化。活動存続のために、NPO奥利根水源ネットワークなど地元団体との調整や組織大幅変更も含め、地元主導体制への転換時期など具体的に検討、穏やかな移行を試行をする。
- ② 参加者層の拡大:
 - 若手からの口コミ的働きかけ、魅力あるWEBサイト作りによる新しい参加者層へのアプローチ。必ずしも藤原にとらわれな将来の下流圏部会の下地となるエコ旅行親睦会的な活動を試行。
- ③ エコパークへの寄与: 上ノ原ガイドの作成。
 - エコパークをキイに、都市住民による環境保全活動と、地元若手による地元ニーズに沿った活動との折り合いをつけていく。例えば、上ノ原ガイドの作成、上ノ原の自然散策遊歩道の開設、地域通貨の進化による地域への浸透。
- ④ 茅刈数の確保
 - インセンティブ増強。茅刈古民家合宿。町田工業による茅刈促進。

(参考データ)

一般参加歓迎プログラム参加人数(地元協力者は含まず)

	①野焼き・山之口開き	②山菜とブナ新緑散策	③ミズナラ林整備	④防火帯整備夏の草花調査	⑤玉原・諏訪神社大祭	⑥日光茅ポッチの会訪問	⑦茅刈	⑧茅ポッチ搬出	⑨雪原散策と茅スグリ
参加者	58	12	18	11	17	12	27	18	15
前年	26	13	15	11	7	12	22	13	13
前々年	45	13	12	12	12	10	27	14	20

茅刈実績

実施年度	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2010
刈り取った茅	2300	4490	5550	3555	3010	2565	4890	2300
うちボランティア	480	625	490	400	260	275	600	350
うち地元	1820	3865	5060	3135	2750	2290	4290	1950
*環境保全作業 協力金	@50 93,500	定額 40,000	126,500	100,960	137,500	114,500	214,500	—

* 茅の買い取り価格(町田工業)に当塾が上乘せするもの。

(2)各月の活動記録

2016年

- 4月
 - ・ 総会、終了後セミナー「過疎の村と東京二拠点移住の可能性」実施、講師は地元移住のフリーランスカメラマン夏目啓一郎氏。
 - ・ 上旬から野焼きに向け上ノ原の除雪開始。野焼一週間前には、草野塾長が炭での融雪実験実施(効果有だがコストが課題)。
 - ・ 一般参加歓迎プログラム①「春の風物詩・上ノ原茅場の野焼き」実施。58名+現地10名以上が参加。前回の反省から、ジェットシューターの講習、練習。炭焼の他、ツイストパン焼き、燻製作り。
- 5月
 - ・ 千葉県柏市の麗澤中学校樹木観察会の下見に15名参加。観察会では19名の青水関係者がインストラクターとして、10グループ148名の生徒を指導。
 - ・ 茨城県立博物館による小貝川でのタチスミレ観察会に清水顧問、西村幹事、他2名参加。
 - ・ 一般参加歓迎プログラム②「新緑のもと藤原の山菜を楽しむ」実施。会員9、会友3合計12名参加。ほかに、看板設置、県道の側溝掃除(有志9名)を実施。車座講座は地元ご婦人たちの「とちのみグループ」による「俳句作り」。
 - ・ 群馬県花と緑のクリーン作戦協力の一環として、県道の側溝掃除、草刈を実施。(以後、これも含め合計3回実施)
 - ・ 西村幹事、外部専門家(プレック山崎氏)、により昆虫調査実施。以後6月、8月にも実施。
 - ・ 茅風第51号発行
- 6月
 - ・ みなかみ町がユネスコエコパークに認定される。
 - ・ NPO奥利根水源ネットワークにて、新方式の炭焼き窯(100L)の試験運転を実施。
 - ・ 一般参加歓迎プログラム「ミズナラ林の若返り伐採&木馬道再生・延長」実施。18名参加。2日目は、武尊山の山開き神事に参加。車座講座は北山塾頭による「自伐型林業と新方式炭焼」。
- 7月
 - ・ 定例プログラム③「上ノ原の賑わい観察(野鳥)・防火帯刈払い」実施。参加16名。車座講座は野鳥の会 上原常務理事による野鳥観察にまつわるお話。
- 8月
 - ・ 昆虫調査、会員2名および外部専門家1名にて実施。
- 9月
 - ・ 定例プログラム④「玉原高原ブナ平&藤原諏訪神社例大祭」(会員限定) 参加17名。玉原越え踏破。車座講座は、森林文化協会及び玉原の紹介(沖常務)、ブナについて(草野塾長)。例大祭は去年7人を大幅に上回る人員で見学、塾1万円、参加者5千円を奉納。
 - ・ 東京楽習会開催。講師の都合で、自習。
 - ・ 「茅風」52号発行。
 - ・ 定例プログラム⑤日光茅ポッチの会とのコラボで「土呂部草原で茅ポッチづくり」12名参加、茅ポッチの会5名とともに、ポッチづくりほか。
- 10月
 - ・ エコパーク認定証授与式・基調講演、地域活動発表会(昆虫保護条例に指定されている5団体)発表会では草野塾長、北山塾頭がプレゼン、交流会には清水顧問出席。
 - ・ 麗澤フィールドワーク実施。148人を指導。
 - ・ 一般参加歓迎プログラム「茅刈」 27名参加、町から高田課長、小林GL参加、テント設営してくださる。雨の中合計69ポッチ。初のころみとして茅刈数に応じて飲水思源地域通貨「ポッチ券」配布、直売所は大にぎわい。茅刈衆減少対策として、尾島会員、藤岡(和)会友が茅刈本番の後古民家に泊まり込みで茅刈。
- 11月
 - ・ 一般参加歓迎プログラム「茅出し、山之口終い」 参加者18名。車座講座は地元酒店の中村智子さん(野鳥および一部動物の写真)、好評。全部で478ポッチ(ボランティア96ポッチ、茅刈衆2名364ポッチ、特別出演2名10ポッチ)昨年のストックを合わせて2675(535ポッチ)束を町田工業に引き渡し
 - ・ 飲水思源地域通貨ポッチ券が10月の茅刈で51枚、11月の茅出しで37枚(各200円相当)配られ、直売所ではついで買いの現金売上もあり、総額3万円以上の地元物産を購入。
- 1月
 - ・ 茅風53号発行
 - ・ 流域連携活動として、小貝川(1月20日)、菅生沼(21日)野焼にのべ12名参加。
- 3月
 - ・ 一般参加歓迎プログラム「キャンドルナイト、雪原トレッキング、茅スグリ」実施、参加者15名。

このほかホームページ、ブログを随時更新

第1号議案 2017年度事業報告 および 事業収支

第2号議案 2018年度事業収支予算案

項目	2017年度計画			2017年度実績			2018年度計画		
		うち助成金 充当	うち自己負 担		うち助成金 充当	うち自己負 担		うち助成金 充当	うち自己負 担
前年度繰越金	951,905			951,905			1,024,645		
会費・入会金	399,000			373,000			383,000		
正会員会費	300,000			285,000			300,000		
家族会員会費	7,000			6,000			7,000		
賛助会員会費	80,000			70,000			70,000		
新規会員入会金	12,000			12,000			6,000		
事業収入	731,000			995,470			1,026,000		
一般参加歓迎プログラム	300,000			512,170			555,000		
環境教育受託料	376,000			416,000			416,000		
(麗澤FW委託費)	280,000			296,000			296,000		
(麗澤観察会委託費)	96,000			120,000			120,000		
茅・物品等売上	45,000			66,300			45,000		
講演料・原稿料	10,000			1,000			10,000		
助成金・エコポイント	855,000			890,500			830,000		
ぐんまグリーン大作戦	20,000			20,000					
みなかみ町昆虫等保護	30,000			30,000			30,000		
財団等民間	800,000			800,000			800,000		
復興住宅エコポイント	5,000								
寄付金				40,500					
その他収入	0			8			0		
受取利息				8					
その他									
(単年度収入)	1,985,000			2,258,978			2,239,000		
合計	2,936,905			3,210,883			3,263,645		
事業経費	1,046,000	482,000	564,000	1,233,966	482,000	751,966	1,139,600	455,000	684,600
一般参加歓迎プログラム	657,000	472,000	185,000	828,531	472,000	356,531	736,000	445,000	291,000
(設備備品費)	94,000	84,000	10,000	86,312	84,000	2,312	65,000	45,000	20,000
(資材消耗品費他)	25,000	15,000	10,000	52,570	15,000	37,570	15,000	15,000	
(レンタカー費用)	304,000	284,000	20,000	369,270	284,000	85,270	326,000	295,000	31,000
(スタッフ高速・ガソリン)	44,000	24,000	20,000	47,191	24,000	23,191	40,000	30,000	10,000
(自家用車提供謝礼)	10,000		10,000	4,835	0	4,835	10,000		10,000
(現地協力者謝金)	40,000	30,000	10,000	35,000	30,000	5,000	30,000	30,000	
(懇親会費用)	100,000		100,000	183,553	0	183,553	200,000		200,000
(ボランティア保険)	40,000	35,000	5,000	49,800	35,000	14,800	50,000	30,000	20,000
環境教育受託事業	369,000	0	369,000	395,435	0	395,435	393,600	0	393,600
(資材消耗品費他)	13,000		13,000	18,618		18,618	13,000		13,000
(レンタカー費用)	22,000		22,000	21,144		21,144	22,000		22,000
(スタッフ高速・ガソリン費)	17,000		17,000	22,973		22,973	20,000		20,000
(交通機関交通費)	6,000		6,000	11,000		11,000	10,000		10,000
(宿泊費)	63,000		63,000	56,700		56,700	47,600		47,600
(現地協力者謝金)	100,000		100,000	65,000		65,000	105,000		105,000
(スタッフ手当)	128,000		128,000	180,000		180,000	156,000		156,000
(コーディネーター料)	20,000		20,000	20,000		20,000	20,000		20,000
東京楽習会	20,000	10,000	10,000	10,000	10,000	0	10,000	10,000	0
(楽習会講師謝礼)	20,000	10,000	10,000	10,000	10,000	0	10,000	10,000	0
(楽習会諸経費)	0		0	0		0	0		0
活動支援・調査費用	514,124	349,124	165,000	613,673	344,820	268,853	664,000	350,000	314,000
設備備品費	31,124	31,124		26,820	26,820		0		
資材消耗品費他	16,000	16,000		10,312	10,312		13,000	13,000	
レンタカー費用	28,000	28,000		31,320	28,000	3,320	28,000	18,000	10,000
スタッフ高速・ガソリン費	44,000	34,000	10,000	39,689	39,688	1	34,000	24,000	10,000
交通機関交通費	50,000	20,000	30,000	21,710	20,000	1,710	30,000	20,000	10,000
宿泊費など	20,000	20,000		123,590	20,000	103,590	65,000	25,000	40,000
図書費	5,000		5,000	0			5,000		5,000
資料作成費	10,000	10,000		12,082	10,000	2,082	130,000	90,000	40,000
資料チラシ等郵送費	10,000		10,000	10,170		10,170	9,000		9,000
地元会費・区費・寄附	60,000		60,000	70,000		70,000	60,000		60,000
工事費・除雪費	100,000	100,000		150,000	100,000	50,000	150,000	100,000	50,000
環境保全作業協力金	100,000	90,000	10,000	99,500	90,000	9,500	90,000	60,000	30,000
環境保全協力地域通貨	40,000		40,000	18,480		18,480	50,000		50,000
事務所経費その他	318,000	0	318,000	338,599	0	338,599	231,000	0	231,000
設備備品費	40,000		40,000	52,699		52,699	50,000		50,000
文具消耗品費他	5,000		5,000	24,832		24,832	3,000		3,000
印刷費	35,000		35,000	41,478		41,478	35,000		35,000
郵便料・通信費	40,000		40,000	45,393		45,393	60,000		60,000
レンタルサーバー費	18,000		18,000	26,352		26,352	18,000		18,000
会議室レンタル費	60,000		60,000	15,000		15,000	10,000		10,000
その他会議費	10,000		10,000	19,913		19,913	5,000		5,000
振込・払込手数料	15,000		15,000	18,002		18,002	15,000		15,000
保険料	35,000		35,000	34,930		34,930	35,000		35,000
賃借料	60,000		60,000	60,000		60,000	0		0
予備費	30,000			0			0		
(単年度支出)	1,908,124	831,124	1,047,000	2,186,238	826,820	1,359,418	2,034,600	805,000	1,229,600
次年度繰越(残高)	1,028,781			1,024,645			1,229,045		
合計	2,936,905			3,210,883			3,263,645		

※ 2018年3月末会員数(カッコ内前年)：正会員60(58) 家族会員7(7) 協賛会員7社(8)
2017年新入会員(敬称略)：平原 俊 池田忠子 金森嬢子 斉藤 修

第2号議案 2018年度事業計画案

1. 2018年度事業計画

- ・都市、地元、利根川流域の住民が**飲水思源の志**でつながり、楽しみながら汗を流す。
- ・**人と自然のほどよい関係で**、生き物たちでにぎわう上ノ原の「入会の森(茅場・ミズナラ林)」を管理・利用する仕組みを築く。

■基本方針

「自然の恵みを持続的に利用する仕組み」の構築、維持に取り組んで参ります。

上ノ原「入会の森」の茅草原、ミズナラ林とのほどほどの関係で保全と活用を図り、次世代につなげます。

■2018年度の重点取り組み

- ・ユネスコエコパーク活動に乗じて、都市住民、地元住民、行政との協力体制を再構築、現地リーダーたちをバックアップし、将来の現地主導体制への橋渡しをはかっていきます。
 <林内遊歩道の整備などエコツアー資源開発、上ノ原ガイドの作成、地域通貨の定着化など>
- ・茅刈数増産対策。半減した茅刈衆の穴を埋める施策を打っていきます。
 <古民家での茅刈合宿プラン、町田工業との連携など>
- ・藤原にこだわらない下流圏会員向けの、親睦会的な楽しい活動を目指します。
 <流域団体、茅葺き現場の訪問など>
- ・現地主導体制への橋渡しに備え育ってきた現地リーダーを後押しをしていきます。

2. 2018年度年間行事予定(案)

月	実施日	実施事項	実施内容
4	7	総会・セミナー	セミナー「目からウロコ 勘違い自然観あるある」
	前泊28 29/30	①野焼き 山の口開き(予備日なし)	1日目 山之口開き、防火帯等整備 2日目 野焼き
5	19	麗澤中学校樹木観察会(下見5月12日)	麗澤学園キャンパス
	26/27	②ミズナラ林の若返り、自然観察遊歩道開設	生き物観察
	12~14	第12回全国草原サミット・シンポジウム	宮崎県串間市・川南町
6	9/10	③土呂部草原ワラビ駆除	日光茅ポッチの会フィールド訪問
7	21/22	④防火帯刈払い	野鳥観察
	未定	学習会/茅葺屋根工事現場お手伝い	町田工業施工箇所
8	4/5	玉原高原トレッキング(下流圏会員親睦プログラム)	湿原観察/登山(宿泊:セミナーハウス)
9	15/16	自然保全団体訪問と諏訪神社例大祭	赤谷プロジェクト又は猿ヶ京温泉
	22/23	⑤ミズナラ林の若返り、遊歩道延伸	薪炭林伐採
	20/21	⑥茅刈り	お散歩マルシェ参加/飲水思源通貨発行
10	18/19 22/23	茅刈り合宿(古民家合宿プラン)	茅束買上(町田工業)
	24	麗澤中奥利根水源の森林フィールドワーク	茅刈り、草原・森林散策、草原で遊ぼう、茅編み他
	21~31	地元茅刈衆による茅刈り	
11	17/18	⑦茅出し、山之口終い	
12		学習会	
1	19/20	流域連携(菅生沼、小貝川野焼)	
2		学習会	
3	9/10	⑧キャンドルナイト・雪原トレッキング	キャンドルナイト/雪原カンジキトレッキング
随時活動		車座講座の実施 直売所訪問(原則毎回) 外来種駆除 上ノ原ガイド作成 社 会 毎 日	
摘要		・茅束増産対策(町田工業と連携)	

①②・・・は定例活動一般参加歓迎プログラム

は地元主導企画もの

第3号議案 2018年度役員選任

1. 役員候補 (あいうえお順)

稲 貴夫	岡田伊佐子	北山郁人	草野 洋	西村大志
林部良治	増井太樹	松澤英喜	吉野一幸	
(新任)	尾島キヨ子			

2. 退任役員

浅川 潔	米山正寛
------	------

3. 新任役員

尾島キヨ子

4. 2018年度執行体制(案)

塾長	草野 洋	全般統轄 事務局長兼務(企画・予算統括、総会、幹事会)、麗澤窓口
塾頭	北山郁人	全般統轄補佐・プログラム企画 みなかみ事務所長(地元・みなかみ町役場ならびに支援企業との連携窓口 地元活動活性化、古民家・倉庫・機器管理、麗澤フィールドワーク など)
幹事	稲 貴夫	広報(「茅風」編集長、東京楽習会、総会/セミナー)
	岡田伊佐子	麗澤中「樹木観察会/FW」自然ふれあい学習、東京楽習会、総会/セミナー
	尾島キヨ子	麗澤中「樹木観察会/FW」
	西村大志	WEB管理(H/P・プログメンテなど) 助成事業 広域連携補佐(草原再生ネット、草原サミット)、麗澤樹木観察会
	増井太樹	広域連携 (草原再生ネットワーク、モニ1000ほか)、WEB管理補佐
	松澤英喜	事務局長補佐(予算管理、会員管理、総会、幹事会ほか) 定例活動関連事務、助成事業補佐 WEB管理補佐
	吉野一幸	地元代表(地元の活動参画促進、NPO奥利根ネットワーク、地域貢献プログラ 連携(森林文化協会、マスコミ)
	林部良治	会計・出納(年会費、経理統括)
	稲貴夫(兼務)	会計監査

顧問

原 剛	安楽勝彦	笹岡達男	滑志田隆	清水英毅	高野史郎
-----	------	------	------	------	------

オブザーバー/相談役

小林 勲	行政/みなかみ町役場窓口(エコ・パーク推進課)
林 親男	地元関係相談役(藤原案内人クラブ)
川端英雄	アドバイザー

第4号議案 会則の一部改定

1. 提案内容 :

①東京事務所所在地の変更

②退会、除名の手続を簡素化 従来、会費の長期未納者は総会に諮って除名としていたが、2年間の未納で自動退会とし、また、復帰も可能とした。

③幹事会の構成メンバーを簡素化 塾頭、学監を任意設置とした また、会計監査の業務を実態に沿って簡素化し実効性を高めた

【会則の改定箇所対照表】

現行	改定後
2条 所在地 2) 会の事務局を下記の場所に置く。 東京事務所：千葉県浦安市高洲5-2-1-1011 コミュニティデザイン気付	2条 所在地 2) 会の事務局を下記の場所に置く。 東京事務所：千葉県千葉市美浜区稲毛海岸 5-4-1-1402 草野洋 方
5条 会員 3) 入会金、会費の減免 やむを得ない事情で休会する場合は、休眠会員として取り扱い、この間の会費は免除する また、会の都合で正会員加入を求める場合、入会金、会費の一部または全部を減免することができる これらの決定は、幹事会出席者の全員一致によるものとする	5条 会員 3) 入会金、会費の減免 やむを得ない事情で一旦退会したものが再度入会する場合は入会金を免除することができる また、会の都合で正会員加入を求める場合、入会金、会費の一部または全部を減免することができる これらの決定は、幹事会出席者の全員一致によるものとする
7条 退会 (2) (新設)	7条 退会 (2) 会費の納入を2年遅延した会員は、原則として自動的に退会と見做す。ただし、5条3項に準じて幹事会出席者全員の一致を見た場合は例外とする。
8. 除 名 本会は、次に掲げる事由に該当する会員を総会の決議により除名することができる (1) 会費の納入を2年以上遅延した会員(削除) (2) 会則に反する行為のあった会員 (3) 会が別に定めるルールに違反する会員	8. 除 名 本会は、次に掲げる事由に該当する会員を総会の決議により除名することができる (1) 会則に反する行為のあった会員 (2) 会が別に定めるルールに違反する会員
9. 幹事(世話役・当番職) 本会は、会の円滑なる運営を期し、次の世話役、当番職を設ける。 塾長1名 塾頭1名 監事1名 学監 若干名 担当幹事 若干名 3) 幹事の職務 (2) 塾頭は塾長を補佐し、塾長が事故等により欠席する場合は、その職務を代行する(削除) (3) 担当幹事は本会を運営し、事業を執行する (4) 監事は業務及び経理を監査し、その結果を会員総会に報告する	9. 幹事(世話役・当番職) (1) 本会は、会の円滑なる運営を期し、次の世話役、当番職を設ける 塾長1名 担当幹事 若干名 担当幹事のなかから、会計を担当しない幹事1名以上を会計監査担当幹事とする このほか、必要に応じて塾頭、学監を設けることができる 3) 幹事の職務 (2) 担当幹事は本会を運営し、事業を執行する (3) 会計監査担当幹事は経理を監査し、その結果を会員総会に報告する
11. 幹事会 1) 幹事会 幹事会は、塾長、塾頭、監事、担当幹事をもって構成する	11. 幹事会 1) 幹事会 幹事会は、9条に規定された世話役、当番職をもって構成する